

科目名		授業形態	担当教員名	
精神障害治療学Ⅰ		講義	淡路 大致	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
精神障害分野での代表的な疾患に対する回復段階に応じた作業療法を実施するための知識や理論・実践を学ぶ。 精神医学Ⅰ・Ⅱで得た知識を踏まえたうえで、各精神疾患の患者さんたちがどのような特性があり、どのようなことで悩んでおられ、そのため作業療法ではどのような支援が必要なのかと論理的に考えられることを目指す。				
授業の到達目標				
1. 精神障害領域の作業療法の治療構造を説明できる。 2. 代表的な疾患における各回復段階の作業療法について説明できる。 3. 代表的な疾患に応じた適切な作業療法実施について説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	精神障害分野の作業療法構造①			
2	精神障害分野の作業療法構造②			
3	統合失調症の急性期作業療法①			
4	気分障害の急性期作業療法			
5	急性期治療実施計画			
6	急性期治療実施計画			
7	統合失調症・気分障害の急性期作業療法演習と振り返り			
8	急性期作業療法実施に対する振り返り			
9	統合失調症の回復期前期作業療法			
10	気分障害の回復期前期作業療法			
11	回復期前期実施計画			
12	回復期前期実施計画			
13	統合失調症・気分障害の回復期前期作業療法演習			
14	回復期前期作業療法実施に対する振り返り			
15	回復期後期作業療法・維持期作業療法			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	60%	到達目標の達成度で評価する。		
レポート・課題				
小テスト				
平常点				
その他	40%	実施計画書・演習内容で評価する。		
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
精神疾患の理解と精神科作業療法 第3版		朝田隆	中央法規	
精神障害と作業療法 新版		山根寛	三輪書店	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
作業療法全書改訂第3版 作業療法治療学2 精神障害		富岡詔子・小林正義	協同医書	
自由記載				
備考				
精神医学Ⅰ・Ⅱの知識が不可欠なので予習・復習をしておくこと				